

もっと知りたい!クルマのこと

CAR LIFE



AACかわら版
カーライフ

〈発行所〉アフターマーケットサプライヤー活性化委員会

[巻頭特集]

愛車の 防錆対策の 重要性

塩カルに潮風…
降雪地域だけじゃない

Vol. **23**
2025 JAN.

TAKE FREE!

手口がより巧妙化!最新の自動車盗難手口から考える
愛車を守るために必要なコト

冬場のスタッドレスタイヤ以外の選択肢として
注目される「オールシーズンタイヤ」

[クルマの豆知識]

3月から運転免許証と一体化される
マイナ免許証ってどんなもの?

塩カルに潮風…降雪地域だけじゃない

愛車の防錆対策の重要性

ぼうせい

最新の調査によると、乗用車の平均車齢は9.34年と32年連続でいわゆる“高齢化”が進んでいる。愛車に長く大切に乗り続ける人が増えている中で、重要になってくるのが日々の愛車のメンテナンスなのだ。本稿では、知らぬ間に愛車のボディや下回りにダメージを与えるサビを防ぐ「防錆（ぼうせい）対策」について触れたい。

クルマのサビの原因は1つではない！

クルマのサビは、一般的に融雪剤などを散布する降雪地区の車両に出やすいと思っているカーオーナーも多いのではないだろうか。確かに間違いではないのだが、都心部や高速道路などでは冬になると凍結防止のために凍結防止剤などが散布されたり、沿岸部においては、冬場に限らず潮風に乘った塩分が内陸部へと入ってくる。この潮風もクルマのサビの大きな要因の1つであることから、降雪地域に限らず、日本全国どこでも愛車のサビ対策が必要だということを、カーオーナーはまず知っておく必要がある。知らぬ間に侵食が進むサビによって、見た目はキレイなクルマでも、実は内部は“サビだらけ”ということもあり得るのだ。

防錆の種類とクルマの“錆びやすい”場所

そもそも防錆には、大きく分けて【簡易防錆】と【本格防錆】の2種類がある。特徴として、例えば簡易防錆（オイル系）は、毎年の施工が必要なものの、安価で施工が短時間で終わるのがメリット。一方、耐久性などの面で優位性があるのが、本格防錆（塗料系やワックス系など）である。手間と時間を掛け、一度の施工で長持ちするのがメリットであるが、施工費用は高めとなっている。それぞれ特徴はあるが、降雪地区や沿岸部の方はもちろん、帰省やウインタースポーツなどで降雪地域には、年に数回しか行かないと言う方にも、愛車を錆から守るために、愛車の用途に合わせた防錆対策をお勧めしたい。

では次に、クルマのサビの発生しやすい箇所について触れたい。最も錆びやすいのは、塩分が入りやすく、抜けにくい場所。例えば、車体の骨格となるフレーム部分やパネルの合わせ部分は、溶接箇所

や隙間が多く、錆びやすい箇所の一つである。また前述した融雪剤や凍結防止剤の影響に加え、走行中に常に飛び石や砂利の影響を受けるクルマの下回りやマフラー部分、また構造的に袋状になっており、水が溜まりやすいボンネットやドアの内側なども錆びやすい場所として挙げられる。ボディの内側のサビが広がり、塗装表面に見える形で現れるケースがあるが、表面に見えるレベルまでサビが広がると、钣金で直す以外方法が無くなってしまいますので、事前の防錆処理が重要となるのだ。

なお前述した凍結防止剤については、自治体により使用される溶剤や量などが違うことをご存じだろうか。種類も固形状のタイプから液状のものまで様々あり、凍結を防ぐ目的から塩分濃度が高いタイプの凍結防止剤もある。つまり、該当地域へ出掛けたユーザーは、愛車がどこでどのレベルの“塩害”を受けているのかを把握することは難しいと言える。そのため愛車に事前の防錆対策を施すことは、愛車を守るために極めて重要なのだ。

冬はウインタースポーツシーズンであり、該当地域へ出掛けるユーザーも多いだろう。また沿岸部の行楽地への観光なども含め、カーオーナーの皆様には日本全国どこでも“塩害”に遭う可能性があるという意識を持ってほしい。



塩の被害から愛車を護る!?

必見! 「塩害対策」とは

塩害を受けやすい場所は普段目にしない自動車の下回り。対策を行わず車の使用を続けると点検時にはサビが進行し部品がポロポロになっているかもしれません。気が付けば時すでに遅し、部品交換で高額の出費もあるかも。最悪の場合は部品の故障、脱落による事故も否定できない。転ばぬ先の杖、愛車を護る塩害対策について学んでおこう。

そもそも塩害ってなに!?

塩害は、車に付着した塩（凍結防止剤や海水に含まれる塩分）が原因でサビが発生する現象です。走行時に車の下回りに塩が付着し、これが水分や空気と反応してサビを引き起こします。放っておくと、どんどんサビは成長してしまいます！サビが進行すると、車に大きなダメージを与えることもあるため、定期的な洗車や下回りのケアが重要です。車を長く良い状態で保つためにはしっかり塩害対策（防錆）をしておきましょう。

どんな対策があるの!?

塗料系、ワックス系、オイル系と大きく分けて3種類。それぞれ特長は異なるが重要なのは塩をボディや部品などの鉄部に直接触れさせないこと。多くの部品は塗装などの防錆処理をしているが、雪道の走行では下回りが擦れて塗膜に傷がついたり、飛び石がぶつかり剥がれたり割れることもある。小さな傷口からサビが発生し、そこを起点に侵食していく。塩害対策専用は塗膜の厚さや密着性、耐チッピング性、耐衝撃性、耐摩耗性、耐熱性、浸透性などにこだわり、部品の形状や環境に応じ最高のパフォーマンスを発揮するように開発されており高い防錆効果と長期耐久性が期待ができる。

専用品中の専用品!?

前述の通り部品の形状や環境により使う防錆処理剤のどこが違うのか知っておこう。プロの整備士さんでも普段の整備では目に触れにくい場所がある。自動車は鉄板を継ぎ合わせるためにスポット溶接している。そこには隙間が。シーラーを塗布し、塩水が侵入するのを防ぐがサビしてしまうこともしばしばある。内部のサビは外部へ進行するまで分からないのでたちが悪い。内部隙間用の防錆剤は高い浸透性を有しており隙間へ入り込み内部に発生するサビを防止する効果がある。忘れがちだが放っておくと見た目はサビてないが軽く触っただけで穴が開くこともあるので忘れず施工をすることをお勧めする。

性能を発揮するポイント

車好きの方はDIYでやりたいもの。しかし、下回りの防錆処理は車両を持ち上げ下に潜り込まなければならず危険が伴う。部品を外し内部まで施工するのは専用の工具や機械も準備しなければならない。塩害対策の施工は車両毎の特性を熟知したプロの整備士さんに塩害対策品を選んでいただき施工することをお勧めする。

日本の道は塩まみれ!?



道に潜む塩害の原因



沿岸部の海水



降雪地帯では融雪剤



塩害ガード®で愛車を護り、長く乗り続けよう!



塩害ガード紹介動画



株式会社 **イチネンケミカルズ**

〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目2番8号 <https://www.ichinen-chem.co.jp/>

プロユースケミカル事業部

東京支店 〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8 03-6414-5608
大阪支店 〒577-0002 東大阪市稲田上町1-17-20 06-6748-9970

手口がより巧妙化! 最新の自動車盗難手口から考える

愛車を守るために必要なコト

警察庁がまとめた「犯罪統計資料」によると、令和6年10月末現在の自動車盗難認知件数は年間5,051件。ピークだった2003年の6万4,223件から比べると、1/10以下にまで減少しているものの、直近2年では増加傾向にあるという。カーオーナーにとって大切な愛車が盗難に遭うことは何としても避けたいところ。そこで今回は、巧妙化する自動車盗難の手口と併せて、カーオーナーができる盗難対策についてご紹介したい。

盗難車ワースト1位はランクル!

下表は、警察庁がまとめた令和6年上半期における車名別盗難台数の状況である。ワースト1位はトヨタ/ランドクルーザーで、以下、トヨタ/アルファード、トヨタ/プリウス、レクサス/LXとトヨタ車が上位を独占。盗難被害が特定の人気車種に集中する傾向と比較的新しい年式の車のほか、ハイゼットやキャリイなど小型の商用車を狙った犯行も発生している状況がうかがえる。

令和6年上半期における車名別盗難台数の状況

メーカー	車名(通称名)	令和6年 上半期	令和5年 上半期
		盗難台数	盗難台数
トヨタ	ランドクルーザー	590	256
トヨタ	アルファード	303	358
トヨタ	プリウス	287	260
トヨタ	レクサスLX	112	152
トヨタ	レクサスRX	80	34
トヨタ	ハイエース	60	77
ダイハツ	ハイゼット	55	54
トヨタ	クラウン	44	50
トヨタ	レクサスLS	44	41
スズキ	キャリイ	44	52

出典:警察庁「令和6年上半期における車名別盗難台数の状況」より

※「盗難台数」とは盗難等車両手配がなされた車名が明らかな車両であり、未遂等を含まないため、犯罪統計における自動車盗難認知件数とは異なる。なお、上記の一覧に、小型トラック・中型トラック・大型トラックは含まない。

巧妙化する自動車盗難手口

自動車盗難の手口について、以前は窓ガラスを破壊したり、ピッキング等で無理矢理ドアをこじ開けるなど、アナログな手口が多かったものの、近年はクルマの進化に伴い、手口も巧妙化。該当するクルマのスマートキーに近づき、電波をキャッチし、その電波を受信し、ドアを解錠。エンジンを始動し、そのまま逃走するという「リレーアタック」という手口やクルマの「CAN信号」という配線を経由して、車両のシステムに不正に侵入し、解錠やエンジン始動などを行う「CANインペーダー」



という手法もある。

特に「CANインペーダー」は、スマートキーの電波を利用せず、自動車のシステムに直接侵入するため、信号を受信する機器さえあれば、犯行にスマートキーを必要としない。そのため、「リレーアタック」などでは有効なスマートキーの電波を遮断するなどの対策などは効果がなく、完璧にCANインペーダーを防ぐのは非常に困難と言われている。

「防犯4原則」をもとに、複合的な対策を!

2024年11月に開催された「自動車盗難防止セミナー～あなたの車も狙われている!?～」(主催:一般社団法人全国自動車用品工業会・全国防犯CSR推進協議会)では、進化する自動車盗難手口の解説や実際のシミュレーションが行われたほか、カーオーナーが意識すべき防犯対策として、同会の加藤学副理事長より「デジタルな盗難手口にハンドルロックやタイヤロックなどのアナログな対策は有効です。ただ、頑丈なハンドルロックでもハンドルごと切っていく事例もあるため、防犯性を上げるためには複合的な対策を講じる必要があります。防犯の4原則は「音・光・(監視の)目・時間」です。100%の予防は難しくても、犯人に「この車を盗むには時間が掛かりそうだ」と思わせることが大事です」と愛車を守るための心構えが説かれた。



セミナーで防犯対策を話す一般社団法人全国自動車用品工業会の加藤副理事長



セミナー後には実車を使った自動車盗難手口のシミュレーションも行われた



「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

Go for a drive!

春のお出かけも、安全に

HORNET®
Auto Security Systems

この春のドライブシーズンに、プラスワンの防犯対策を。カーセキュリティシステム、防犯アイテムを選ぶなら信頼と実績のホーネットシリーズ。



超音波センサーで衝撃・侵入・ドア開けを検知!

ワンタッチカーセキュリティ

2月3日(月) 新発売

シガーソケットに差すだけで配線工事不要です!

BEE7375



後付け盗難防止装置 国内シェア

No.1

製造発売元 **加藤電機株式会社**

〒475-8574 愛知県半田市花園町 6-28-10 <https://www.kato-denki.com>

カーセキュリティ製品の詳細は当社ホームページをご覧ください。
ハンドルロック・タイヤロックは、必ず装着条件をお確かめください。
HORNET® BeeSensor® は加藤電機株式会社の登録商標です。 ©2025 KATO DENKI, Inc. All rights reserved.

HPはこちら



※富士経済「DXを実現するセキュリティ関連技術・市場の将来展望 2023」後付け盗難防止装置 金額ベース、数量ベース 2022年実績

冬場のスタッドレスタイヤ以外の選択肢として 注目される「オールシーズンタイヤ」

地域差はあるものの、年に数回しか降らない雪のためにスタッドレスタイヤに替える手間や時間、

保管場所の問題等から冬場のスタッドレスタイヤ以外の選択肢として

特に最近、都市部などで注目を集めているのが「オールシーズンタイヤ」だ。

そもそもオールシーズンタイヤとはどんなものなのか。その特徴について触れてみたい。



そもそもオールシーズンタイヤとは…?

オールシーズンタイヤとは、その名の通り、1年を通して使用できるタイヤで、サマータイヤ(夏用タイヤ)とスタッドレスタイヤ(冬用タイヤ)の中間的な性能を持つタイヤと言える。季節を問わず使える汎用性が大きな特徴で、1年を通してタイヤ交換の必要がなく、そのまま走行できる点が最も大きな魅力だ。

オールシーズンタイヤは、サマータイヤほどのグリップ力や高速走行性能はないものの、冬の軽い積雪や凍結路面でも一定の走行性能を発揮するように設計されている。ただし、本格的な積雪地や凍結した道路での性能はスタッドレスタイヤに劣るため、自分が住んでいる地域の気候や道路環境を考慮し、どちらのタイヤが自分のニーズに合っているのかをまず判断することが大切である

オールシーズンタイヤとスタッドレスタイヤの違いを知る

では、もう少し具体的に性能面の違いを見ていきたい。オールシーズンタイヤとスタッドレスタイヤの大きな違いの1つに、対応できる路面環境と素材の特性が挙げられる。スタッドレスタイヤは雪道や凍結路専用に開発されたタイヤで、ゴムが柔らかく、低温でもしっかりと路面を捉えるが、オールシーズンタイヤは、夏と冬の両方で使

えるように設計されているため、ゴムの硬さやトレッドパターンがスタッドレスタイヤとサマータイヤの中間に設計されている。つまり、スタッドレスタイヤは深い雪や凍結した坂道では優れたグリップ力を発揮するが、夏場のアスファルトでは摩耗が激しく、走行性能も低下する。逆に、オールシーズンタイヤは積雪が少ない地域での日常的な使用に向いているが、本格的な冬の悪路では性能が限られる。まさに一長一短があるのだ。

オールシーズンタイヤのメリット

- ✔ タイヤ交換の手間が省ける
- ✔ タイヤ交換費用の節約になる
- ✔ 保管スペースが不要になる
- ✔ 急な天候変化にも対応可能



※突然の積雪や凍結が発生した場合、最低限の安全性は確保できる

オールシーズンタイヤのデメリット

- ✔ 本格的な雪道や凍結路での走行性能が不十分
- ✔ 夏場の高速道路での耐久性が低下

オールシーズンタイヤはこんな人にオススメ!

- ✔ **雪が少ない地域に住んでいる人**
温暖な地域や、冬でも積雪や凍結がほとんどない地域に住む方にとっては、オールシーズンタイヤのメリットは享受できる。冬場にスタッドレスタイヤのような性能を必要としない場合、タイヤ交換の手間を省けるだけでなく、保管スペースの確保も不要になる。
- ✔ **車の使用頻度が低い人**
通勤や通学で頻繁に車を使うわけではなく、週末や休日のちょっとしたお出かけに使う程度の人にとって、オールシーズンタイヤはコストパフォーマンスが高い選択肢となり得る。頻繁な使用を想定していないため、タイヤの摩耗が緩やかで寿命も長持ちする。
- ✔ **タイヤ交換やメンテナンスに手間をかけたくない人**
タイヤ交換のスケジュールを管理したり、交換作業を行うのが煩わしいと感じる方にも、オールシーズンタイヤは適している。オールシーズンタイヤであれば、一度装着したらそのまま使い続けられるため、タイヤの管理もシンプルになる。
- ✔ **都市部や平坦な道路が多い地域に住んでいる人**
雪が降ることがあっても、道路がすぐに除雪される都市部や、坂道の少ない平坦な地域では、オールシーズンタイヤで十分対応が可能だ。こうした地域ではスタッドレスタイヤの性能をフルに発揮する必要がないため、オールシーズンタイヤも選択肢の1つになる。

逆に…こんな人には不向き

- ✔ **本格的な積雪地帯に住んでいる人**
冬季に深い雪が降る地域や、凍結が頻繁に発生する地域については、オールシーズンタイヤでは十分な性能を発揮できない。スタッドレスタイヤを使用しないと安全性が確保できない場面が多いため、オールシーズンタイヤは不向きと言える。
- ✔ **冬場にスキー場や雪山に出かける人**
趣味や仕事で冬場に雪山やスキー場に行く機会が多い人も、オールシーズンタイヤは適さない。雪深い山道や凍結した峠道を走行するには、スタッドレスタイヤのような専用タイヤが必須になるからだ。
- ✔ **高速道路を頻繁に利用する人**
夏場に高速道路を長距離走行する機会が多い人も、オールシーズンタイヤは不向き。耐久性や燃費性能が劣るため、サマータイヤの方が適している。
- ✔ **スポーツカーや高性能車を運転している人**
スポーツカーや高出力の車を所有している場合、オールシーズンタイヤでは車の性能を十分に発揮できない。このような車には、季節に応じた専用タイヤの装着をオススメしたい。

オールシーズンタイヤは、その便利さと汎用性から、都市部を中心にタイヤの選択肢として広がっているが、前述したようなデメリットもあることを理解し、適切な環境での使用と適切なメンテナンスを行うことで、その性能が最大限引き出されるということを知っておいてほしい。

注目のオールシーズンタイヤを知る

2023年10月に路面状態に合わせてゴム自ら性質が変化する新技術「アクティブトレッド」を初公開した住友ゴム工業。「SYNCHRO WEATHER」はその「アクティブトレッド」を初搭載した次世代オールシーズンタイヤだ。新技術の採用によって、タイヤ自らが適した性能に変化することで、夏も冬もより安心して使えるストレスフリーな新基準タイヤとなった。



住友ゴム工業(ダンロップ)
SYNCHRO WEATHER
シンクロウェザー

注目!蔦屋書店での特別展示も

昨年10月28日から11月10日まで「湘南T-SITE」、「柏の葉T-SITE」にて「SYNCHRO WEATHER(シンクロウェザー)」の特別展示が行われた。同社では「ダンロップブランドにおいて初の書店とのコラボ企画となりましたが、秋冬のお出かけをテーマとする本や雑貨と共に、季節や天候によって訪れる場所を制限させない「SYNCHRO WEATHER」をディスプレイすることで、書店に訪れるお客様のライフスタイルに寄り添った新たな価値提案を行うことができた」としている。



柏の葉T-SITEによるディスプレイ展示の様子

手軽さで人気を集める「布製チェーン」

この冬は、昨年の暖冬から一転、冬らしい寒さが予想されている。予想を超えるような突如の大雪などにも警戒する必要があり、チェーン規制が掛かる区間ではタイヤチェーンは必須だ。

国土交通省は2018年12月、高速道路、国道の一部区間を対象に、従来であれば通行止めとしていた降雪状況でも、タイヤチェーン装着車のみ走行可能とする方針を発表。併せて、タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する「タイヤチェーンを取り付けていない車両通行止め」の規制標識が新設された(下部画像参照)。

寒冷地では当たり前のチェーン装備だが、慣れない人は一筋縄ではいかない。そんな時、金属製タイヤチェーンの代用品のひとつの選択肢となるのが、布製のタイヤチェーンだ。なお布製のタイヤチェーンは、国土交通省が再定義した前述の「チェーン規制」適合商品として認定されている。メリットは価格が安く、非常に軽いため、取り付け・取り外しがとにかく簡単なことや折り畳んで収納することができるため、片付けが簡単なことが挙げられる。

ただ一方で、布製のため舗装道路にはあまり向かず、金属製のチェーンに比べると耐久性の面では劣ることは否めない。オールシーズンタイヤ同様、一長一短があることを理解した上で、選択肢の1つとして検討してみても良いのではないだろうか。



「タイヤチェーンを取り付けていない車両通行止め」の規制標識

みんな 知ってる 使ってる

Miyaco

の ブレーキ パーツ

ミヤコ自動車工業株式会社

軽い、簡単、すべらない

クルマの

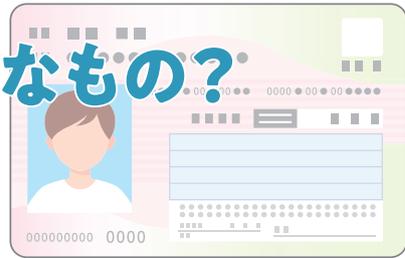
豆

知識

3月から運転免許証と一体化される

マイナ免許証ってどんなもの？

昨年、警察庁がマイナンバーカードと運転免許証を一体化させた「マイナ免許証」の運用を2025年3月24日から開始すると発表したことをカーオーナーの皆様にご存知だろうか。「マイナ免許証」になることで、何がどう変わるのか。ユーザーとして知っておくべきポイントをまとめた。



なぜ「マイナ免許証」が導入されるのか？そのメリットは？

マイナンバーカードと運転免許証の一体化は、政府がマイナンバーカードを活用した行政手続きのデジタル化を進める中で、検討が進められてきた。既に2022年の改正道路交通法で、希望者はマイナンバーカードに運転免許証の情報を記録できるようになっている。この規定が整備され、2025年3月24日（月）から全国で運用が開始されることになったのだ。

「マイナ免許証」を取得するメリットとしては大きく2点ある。1点目は住所や氏名変更の「ワンストップ化」だ。運転免許証の住所や氏名の変更は、これまで自治体に届け出をしてから、運転免許センターや警察署で手続きをする必要があったが「マイナ免許証」があれば、自治体に届け出をすれば、免許証の住所や氏名も書き換えることができるので、1ヶ所で手続きを終えることができる。

2点目は免許更新の際の講習のオンライン化だ。「無事故・無違反」の「優良運転者」と、軽微な違反のみの「一般運転者」が免許の更新を行う場合、これまでは運転免許センターや警察署で、30分～1時間の講習を受ける必要があったが「マイナ免許証」を取得すれば、今後、パソコンやスマホを使い、オンラインで講習を受けることができるようになるという。ただし、オンラインで受けることができるのは講習だけで、視力検査や写真撮影、免許情報の書き換えは引き続き運転免許センターや警察署で行う必要がある。また「違反運転者」や初回の更新について、オンラインで講習を受けることは現時点ではできないという点には注意が必要だ。

「マイナ免許証」で変わること

警察庁の発表によると「マイナ免許証」を利用するためには、マイナンバーカードのICチップに運転免許証の番号、有効期限、免許の種類、眼鏡が必要ななどの条件、顔写真などの情報を記録する手続きが必要とのこと。情報はICチップに記録されるのでカードの表面に、免許証の有効期限などが印字されることはなくなる。現在、運転免許証を持っている人は、運転免許センターやシステムが

整備された警察署にマイナンバーカードと運転免許証を持って行くと、3月24日以降に「マイナ免許証」を作ることができるという。

なお「マイナ免許証」の取得は任意であり、引き続き従来の運転免許証を使うこともできる。また海外で運転する際に従来の運転免許証が必要になるケースがあることから「マイナ免許証」と従来の運転免許証の両方を持つことも可能としている。

ただし前述の通り「マイナ免許証」の表面には有効期限などが印字されない。そのため更新の時期の把握が必要になるが、警察庁によると、情報の確認にはマイナポータルへのログインか「マイナ免許証読み取りアプリ」（3月24日までにインストールが可能になる見込み）のインストールが必要としている。ただ従来通り、更新が近付いた際には、はがきでのお知らせも継続するとしている。

更新についての注意はもう1つ。マイナンバーカードを更新すれば自動的に「マイナ免許証」が更新されるわけではない。マイナンバーカードと運転免許証の有効期限はそれぞれ異なるため、それぞれで更新の手続きが必要になるということは知っておきたい。

今回のルール改正において、マイナンバーカードと運転免許証の一体化が義務付けられるというわけではない。従来の運転免許証のみを保有することのほか「マイナ免許証」を新たに保有するという選択肢や「マイナ免許証」と運転免許証の両方を保有するという選択肢が追加されることになったのだ。このような新制度については、メリットとデメリットの両方を正しく理解し、ベストな選択肢を選ぶことが重要だ。

【警視庁】

マイナンバーカードと
運転免許証の一体化についてhttps://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/menkyo/oshirase/individual_number.html

アフターマーケットサプライヤー活性化委員会(AAC)とは？

AACは、全国の有力な部品商が集まり、より高度な補修部品や関連商材の販売・提供のノウハウを勉強し、従来あまり得意としてこなかった補修部品以外の商品・サービスの研究をし、その情報をお客様にご提供するために、勉強と交流の場をベースに「さらなる高みを目指して」活動している組織です。100年に1度の大変革期にある自動車業界において、今できること、すべきことを従来の価値観に縛られずに、しっかりと推進し、業界活性化を図り、ひいては地域社会の発展に寄与すべく、活動を行っています。

「CAR LIFE」に関する

ご意見・ご感想・ご要望などを寄せてください



編集部では、今後ともコンテンツの充実に向けて参ります。皆様からの多様なご意見・ご要望を募集しております。下記メールアドレスまで、お寄せ下さい。

CAR LIFE編集部 ▶mail:info@aa-c.jp